

令和5年度良好な水循環・水環境創出活動推進 モデル事業について (報告)

令和5年11月7日
中央環境審議会水環境・土壤農薬部会(第11回)
環境省水・大気環境局環境管理課

環境省 健全な水循環の維持・回復のための取組

- 「水循環基本法」に基づき、健全な水循環の維持・回復のための取組推進のため、官民連携「Water Project」を発足。
- 環境省が関係主体間の連携協力の場をつくり、民間企業等の主体的・自発的・積極的な活動を推進し、全国的に幅広く国民の理解と関心を深める。

8月1日は水の日



<ポータルサイトでの情報発信・参加団体募集>

Water Project ウォータープロジェクト
～良好な水環境の活用・保全に向けて～

TOP ウォータープロジェクトとは プロジェクト 事例を見る・連携する

Water Project ワータープロジェクト

プロジェクト参加企業・団体
399 企業・団体
(2023年8月21日現在)

参加登録 メルマガ登録

ウォータープロジェクトとは

人と水との関わりを考え、産官学民等の多様な主体の連携による良好な水環境の活用・保全を通じて、持続可能な社会の実現を目指す取組です。

詳しくはこちら ➔

最新情報

平成26年8月1日発足
(令和5年9月現在:
399団体参加)

<啓発口ゴの提供>



<イベントの開催>



シンポジウム

令和5年度良好な水循環・水環境創出活動推進モデル事業

- 良好な水循環・水環境を創出するとともに、水環境を活用した生物多様性の保全や地域活性化の活動を推進するモデル事業を実施
- 令和5年度は49件の応募から3件を選定し、地域に根ざした総合的な水環境管理を目指す

やんばる水環境創出プロジェクト 沖縄の休日を体感する持続可能な流域マネジメント

団体：大宜味村観光協会

事業概要

(沖縄県大宜味村)

沖縄県やんばる地域の重要な水源地であり、自然観光資源「ター滝」で来訪者からも注目される平南川流域において、流域マネジメントの仕組みを活用し、地元住民と来訪者とが一体となった持続可能なやんばる水環境保全活動を推進する。

実施内容

- 流域水循環計画策定に向けた環境調査と利用実態調査の実施
- 遊びと学びの基盤となる水辺のプレイフレインフラの方針整理と体験の場としての管理水準の検討
- 水辺の体験活動の開催と指導者育成、普及啓発ツールの作成



(平南川流域「ター滝」)

酒都・西条の地下水を育む里山活動

団体：西条・山と水の環境機構

事業概要

(広島県東広島市)

「日本三大銘醸地」広島・西条の酒造業を支える地下水の涵養域（龍王山流域）において、西条酒造協会の基金により実施してきた「山と水のグラウンドワーク」を発展させ、地域好循環システムを構築し、地下水保全・管理のための政策を検討する。

実施内容

- 学校、地域の団体、企業など多様なステークホルダーとのワークショップの開催、「山」「里」「水」「酒づくり」の地域好循環システムづくり
- 広島大学と連携し、龍王山流域の地下水環境の現状把握(ボーリング調査・観測井戸設置)、行政とともに地下水保全・管理政策の検討



(山のグラウンドワーク後の交流会の様子)

「水が生まれる信濃おおまち」 サステナブル・タウン推進事業

団体：長野県大町市

事業概要

(長野県大町市)

信濃川水系の最上流部に位置する大町市において、発電、灌漑、生活用水に利用されてきた水の歴史や水利体系、人や地域との関わりといった情報を保存・活用するとともに、企業等と連携して環境教育の展開や学習旅行の誘致を図る。

実施内容

- 水資源情報のデジタルアーカイブ化、水利施設等の撮影、学習旅行のコンテンツ増強、案内人養成、観光アプリ開発、水スポット整備への活用
- 「大町『水の学校』SDGs 探究学習」プログラムのガイド養成と学習旅行用ガイドブック作成、企業と連携した学習旅行等の誘致



(大町市最大の水源「矢沢源流」)

「良好な環境」の創出の促進

- 「良好な環境」の保全・創出と持続可能な利用により、地域に具体的なメリットを創出
- 国民のWell-beingや地域の魅力度の向上、持続可能な観光等の地域活性化、ネイチャーポジティブやOECM※への貢献により、水・大気環境行政による持続可能な社会を構築

・豊かな水辺や星空、音の風景等、地域特有の自然や文化の保全により、住民のWell-being向上と観光等の地域活性化を実現するモデルを構築

※保護地域以外で生物多様性保全
に資する地域



豊かな水辺の活用



星空観察を通じた星空の保護



水路のせせらぎの音



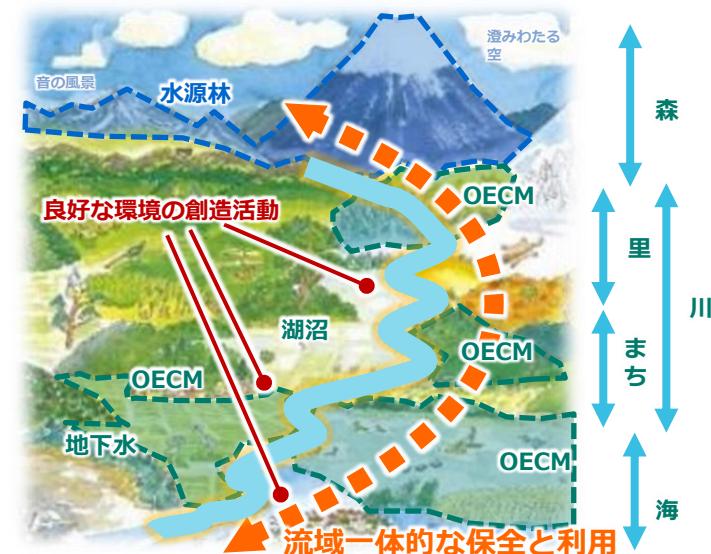
山々にこだまする鐘の音



ホタルの里の水辺保全



ラベンダー香る並木道



・水道水源となる森や川から、里・まち・海に至るまで、OECMも活用した保全と利用の取組を支援・連結し、流域一体的なモデルを構築

・TNFD※¹、ウォーター・ポジティブ※²の動向を踏まえ、水資源リスクへの対応等、良好な環境の創造の取組が企業の価値向上に資するよう、情報開示等を促進

※ 1 自然関連財務情報開示タスクフォース ※ 2 事業で消費するよりも多くの淡水資源を供給する考え方